

2019-20年度RIテーマ
 ROTARY CONNECTS THE WORLD
 ローターは世界をつなぐ



RI会長
 マーク・ダニエル・マローニー

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	宮本 和彦	会計	田中 幸俊	管理運営	本庄 純夫
会長エレクト	久藤 孝仁	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
副会長	山根 積	副S A A	金澤 節生	奉仕	吉本きよ子
幹事	山根 積	直前会長	板場 英行	広報	大成 義彦
副幹事	三好 静子			R財団	野田 眞治

事務局/〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号
 TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651
 E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp
 http://www.takehara-rc.com
 例会日/毎週木曜日12:30~13:30
 例会場/大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 10月3日	次週のプログラム 10月10日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生月該当者会員卓話	外部卓話

【2019年9月19日 第2672回 例会記録】



広島空港・竹原ロータリークラブ合同 2019-20年度 晝田眞三ガバナー公式訪問 令和元年(2019) 9月19日 G.A.A.写真班

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- ゲスト：国際ロータリー第2710地区
 ガバナー 晝田眞三様 (福山RC)
 随員幹事 浅利和男様 (福山RC)
 G9ガバナー補佐 三宅 宏様 (尾道東RC)
 補佐幹事 岸上幸由様 (尾道東RC)
 齋藤幸恵様 (尾道東RC)
- 広島空港RC会員：18名
- 会員数：24名 (免除者：3名)
- 出席者：19名 欠席者：4名
- メイク：1名 出席率：86.96%

各会員各記念日(10月)

- 会員誕生日 夜船 正昭
- 結婚記念日 堀越 賢二 三好 静子
- 事業所創立 大森 寛

スマイルボックス

- 特別スマイル
 ・2710地区ガバナー 晝田眞三様
 ・G9ガバナー補佐 三宅 宏様
 ・ガバナー公式訪問歓迎致します。皆様宜しくお願
 いします。(宮本和彦)

幹事報告

幹事 山根 積

- ・9月26日(木)は休会です
- ・創立55周年について資料

会長の時間

会長 宮本 和彦



竹原ロータリークラブ、広島空港ロータリークラブ会員の皆様、本日は両クラブ合同でのガバナー公式訪問合同例会に御出席頂きまして誠に有難うございます。

本日は国際ロータリー第2710

地区ガバナー 晝田眞三様、随行幹事 浅利和男様、G9ガバナー補佐 三宅宏様、補佐幹事 岸上幸由様、斎藤幸恵様をお迎えしております。御来訪を心より歓迎致します。最後までどうぞ宜しくお願い申し上げます。

例会終了後には、クラブフォーラムがございます。ロータリー行事の中でもガバナー公式訪問はもっとも重要な研修・協議会であると思います。ロータリアンの皆様にとりまして、貴重で有意義な時間となることでしょう。今後のロータリー、又は、効果的なクラブになるためにも皆様の活発なご意見を期待しております。本日は宜しくお願い致します。



広島空港RC

会長 佐々木 正親

皆様こんにちは。広島空港ロータリークラブ本年度会長の佐々木でございます。宜しくお願い致します。本日はようこそ竹原の地へお越しくださいました。有難うございます。

今日は竹原ロータリークラブと合同ということで、私達、広島空港会員楽しみにして参りました。竹原の皆様どうぞ宜しくお願い致します。先日、地区補助金を利用して、東広島市の高屋にある子供食堂の支援をさせて頂きました。そこでは小さい子供さんや、近畿大学の学生さん、ボランティアをされている方がいらっしゃったり、良いことが出来ているなどの思いを強く思いました。何かできることがないかと常日頃考えるきっかけになったと思います。

本日はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ガバナー卓話

国際ロータリー第2710地区

ガバナー 晝田 眞三様 (福山RC)



2019-20年度、第2710地区ガバナーの晝田でございます。本日は貴重な機会を頂きまして有難うございます。また今回は合同例会ということで重ねて御礼申し上げます。昨年の合同例会は、尾道RCと尾道東RCの一組で実施されました。今年は広島県内5組10クラブの方々に御協力頂きました。

ガバナーの役割はキリスト教で言う司祭(priest)だと言われます。RI会長の方針を会員に伝えることが最大の任務であるということです。その任務を忠実に果たそうとすると皆さんに資料としてパワーポイントなりペーパーなりを見ていただいた方が伝わりと見え、新たな取り組みとして資料を用意しました。



これは昨年7月7日の西日本豪雨で洪水被害を受けた倉敷市真備町の上空写真でございます。一本だけ繋がっているのは第三

セクターの井原鉄道の高架です。レールそのものは被害はなかったのですが、信号等の電気設備は地上にございましたので被害を受け、復旧のために大変な努力をしたというところでございます。第三セクターですので資金的に余裕がなく、予備品を多く持っているわけではないので、高知県のくろしお鉄道とか、鳥取県の若桜鉄道といった第三セクターの方々に助けて頂いて復旧が早まったというところでございました。結果的には9月3日、全面運行が再開しました。

この井原鉄道は開通して21年になるのですが、21年前の鉄道が開通した時のことを周辺住民の方々が覚えておられるということで、このような事態に多くの方々が早期の復旧・復興を強く願われたということでございまして、自治体の方々もその住民の方々の声に応じて応援をして頂いたものでございます。

公共交通機関の役割は、特に社会的交通弱者と言われる人たちには重要です。昨年、三江線が廃止されましたし、宇部線がバスに代替されるという話もあります。無人駅、夜間の無人化も進んでいます。公共交通機関の火を消さない努力をお願いします。



この新聞記事は私が井原鉄道社長を退任するときの記事です。お陰様で黒字化が達成でき、就任のきっかけになった横領事件の後始末もできての退任でした。関わってきたからこそ、皆さんに関心を持っていただきたいと思います。

繰り返しになりますが、地方の公共交通機関の役割は交通弱者の方々の為にも守っていくという姿勢でないと守れないと思います。

5月23日、参議院経済産業委員会にて中小企業強靱化法案の意見陳述の参考人として呼ばれました。中小企業が自然災害に遭遇しても被害を最小に留めるよう日頃からBCP (Business Continuity Plan) を策定することが大前提であり、策定している企業はそれをリニューアルをしましょうと申し上げました。

今年度のマーク・ダニエル・マローニーRI会長は、皆さんご承知のようにアメリカ・アラバマ州のDecatur RC所所属の弁護士さんです。マローニーさんらしいところは、30歳代でガバナーをされ、ここに至るまで国際ロータリーや財団のいろんな役職をしてこられたということで経験が非常に豊富な方です。と言いますのは、マローニーさんの前任のバリー・ラシン会長は、アフリカの方が予定されていたのが急死されてバリー・ラシンさんになられ、マローニー会長の来年度ですが、当初はインドの方が就任予定でしたが、受けられないということでドイツの方に変わられる予定です。そういった意味で順調に何十年もロータリーの要職をされる方は極めて少ない中で本流を歩いて来た方ということです。ですから長期的な話が多いのが特徴だと思います。



この写真は日本の34地区のガバナーとその奥様の集合写真です。この中に2人の女性ガバナーがいます。前

年は1名だったのですが、今年は2名になり、来年は3名になります。女性の活躍が著しいです。2710地区では女性のガバナーを輩出する雰囲気はないですが、女性のガバナーが出るには女性のガバナー補佐の経験者が必要になってくると思います。今年は女性のクラブ会長さんは2名おられます。第2710地区からも将来、女性ガバナーが輩出することを期待しましょう。

ガバナーの中に、ポリオを患った方がおられます。埼玉南東のガバナーで、税理士資格を取って税理士事務所を開いておられます。元々の家業は神社で、本来ならば神主になるのだと思いますが奥様が神主をされています。

10月24日の世界ポリオ・デーには埼玉南東地区全てのクラブでエンド・ポリオの活動イベントをされると聞いております。エンド・ポリオの活動に御理解をお願いします。

マローニーRI会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」と云われています。これにつきましてはマローニー会長の動画を後程見て頂きます。

数年間“柔軟性”が言われ、各クラブの判断でいろんな見直しがされています。中核的価値観、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの五項目ですが、行動規範にも高潔性や高い倫理基準という言葉が出て参ります。伝統的な職業奉仕という言葉がありますけれども、それぞれの仕事を真面目に高潔性をもって、高い倫理基準をもって仕事をするという意味合いからこの高潔性という言葉が出ています。そういった意味で伝統的な職業奉仕の考え方はまだまだ生きているということでございます。

年次目標の4番目に、女性会員や40才未満の会員の入会促進をしましょうというのがあります。

次に当地区の各クラブの例会回数ですが、先程の柔軟性の言葉が言われるように、例会回数を見直されたクラブがあります。月に2回のクラブや、休日がある週は休むというクラブもあります。

会員数の変遷ですが、2710地区はピーク時4,282人でした。直近は3,250前後で推移しています。

RIの最大の関心事は先進国での会員の高齢化、減少です。これについての解決策はクラブによって事情は違うわけですから、クラブが主体的に解決しなければなりません。



一年だけの計画だけではできない項目については数年単位で取り組む(戦略計画)こともお願いします。また「良いことをしよう」即ち、財団を使った奉仕活動への取り組みは大変活発になっています。感謝しますと共に引き続きよろしくお願ひいたします。ガバナー信条は、各クラブが主体的に将来像を描き、その将来像に向かって着実にステップを重ねて頂くことをお願いしています。即ち、皆さんが自らのクラブの未来を語り、皆さんの手で礎を築いて頂きますよう切に期待しております。

2019-20年度の地区大会は10月25日～27日に開催します。是非多くの方々のご参加をお願い致します。新たな取り組みとして、27日の本会議は従来は10時からでしたが、今年は12時半からのスタートにしました。遠方の方々にも多く参加して頂きたいということで時間設定しました。10時から財団の活動事例報告会を行います。会長幹事さんは前日から来られますので是非お聞き下さい。

RYLAは今年はアメリカ・オレゴン州から十数人の若い人にお越しいただき事前研修した後に合流して、地区の若い方と議論して頂く場を設定します。これにつきましては広島RCさんと広島中央RCさんの共同主管で行われます。

がん予防推進につきましては、昨年までの3年間で活動期間は終了しましたが、各クラブで委員会を作られているクラブでは継続して頂ければということです。

次に日本のロータリー100周年を祝う鐘を作りまして、昨年、吉原ガバナーがこちらに持参されたと思います。本日は写真でということにさせて頂きました。



マローニー会長の動画でもお分かりのようにマローニー会長は職業分類について強く意識をしていて、ロータリークラブは色々な業種の人が集まってこそロータリークラブなんだというところは従前と何も変わっていないということです。是非そここのところをご理解頂きたいと思います。

メイクアップの制度が変更になっておりますが、その変更は例会が軽視されるというものではなくて、会員にとって例会は大変重要なもので、例会出席が奨励されていることは従前とは何も変わりませんので、是非御理解頂ければと思っております。

時間が参りましたので終了いたします。最後までご清聴ありがとうございました。

フォーラム

例会終了後にはフォーラムが開催され、「会員基盤強化について」「クラブ戦略計画について」「ロータリー財団寄付について」討議が行われました。

会長挨拶 竹原RC 宮本会長
 ガバナーご挨拶 晝田ガバナー
 出席者自己紹介(委員会・職業分類・在籍年数)
 会長運営方針説明

議題

- ①会員基盤強化について
 (発言者) 広島空港RC:熊谷クラブ管理運営委員長
 竹原RC :久藤会長エレクト
 - ②クラブ戦略計画について
 広島空港RC:佐々木会長
 竹原RC :宮本会長
 - ③ロータリー財団寄付について
 広島空港RC:河井財団委員長
 竹原RC :大森米山委員長
 - ④その他
 広島空港RC:重森会員、澤井直前会長
- 講評 晝田ガバナー
 謝辞 広島空港RC 佐々木会長



今後の例会・行事予定

- 10月 3日(木) 通常例会 理事会
- 10月10日(木) 通常例会
- 10月17日(木) 例会取消
- 10月24日(木) 例会取消
- 10月27日(日) 地区大会 福山市
- 10月31日(木) 通常例会 理事会

2019-20年度ガバナー公式訪問は広島空港RCと竹原RC合同で実施。

晝田ガバナー、三宅ガバナー補佐、浅利随行幹事、岸上補佐幹事、斎藤補佐幹事をお迎えして、広島空港RC会員18名、竹原RC会員19名により、2019-20年度ガバナー公式訪問合同例会を開催しました(42名出席)。例会終了後には一同で記念写真を撮影。その後13:40~15:10迄、ガバナー他、広島空港RC13名、竹原RC16名で合同フォーラムを開催しました(34名出席)。